

平成27年 6月29日

宗像市議会
議長 吉田 益美 様

建設産業常任委員会
委員長 小島 輝枝

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を宗像市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

第67号議案 宗像市屋外広告物条例の制定について

本案は、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置並びにこれらの維持に関して必要な事項を定めることにより、良好な景観を形成し、風致を維持するとともに、公衆に対する危害を防止するため、条例を制定するものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 制定の経緯

昨年度、景観法に基づく景観計画と景観条例を施行し、良好な景観形成の実現を推進してきた。屋外広告物も景観を形成する重要な要素の一つであり、歴史的景観や自然景観に恵まれた島部や玄海地域などの景観重点区域では、屋外広告物を地域の景観特性に配慮した規模・数量・色彩などへ誘導していく必要がある。

現在の屋外広告物に関する規制は、福岡県屋外広告物条例（以下「県

条例」という。）に基づいて行われているが、県条例では屋外広告物の表示や設置の基準が県下一律で、市の実情に応じた規制が不十分である。

については、景観計画で規制誘導する建築物や工作物と一体となった良好な景観形成のためにも、市独自の屋外広告物の規制誘導が求められることから、景観審議会での調査審議などを経て、屋外広告物条例の制定に至る。

2 条例の特徴

原則として自家広告物のみ表示等を可能とする特別地域、非自家広告物の表示等も可能とする普通地域を定めるとともに、広告物等の表示等を禁止する物件や禁止広告物等を定めるものである。特別地域や普通地域において許可の対象となる広告物等の基準や表示等の期間は規則で定める。

3 管理体制

現在は、年4回、維持管理課において違反広告物の撤去等を実施している。今後は、組織体制や予算の強化を検討しながら、違反広告物の根絶を目指していく。

なお、罰則については、県条例の内容を引き継ぐ。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第68号議案 宗像市市民活動交流館条例の一部を改正する条例について

本案は、宗像市市民活動交流館に「宗像市住まいと暮らしの情報センター」を設置するにあたり、地方自治法の規定に基づき、同施設の設置及び管理について必要な事項を定めるため、宗像市市民活動交流館条例の一部を改正するものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

宗像市市民活動交流館（メイトム宗像）内に、「宗像市住まいと暮らしの情報センター」を設置し、より豊かな住生活の実現を図る。

なお、協働によるまちづくりを推進するため、一般社団法人住マイむなかたに業務委託を行う予定である。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 69 号議案 市道路線の認定について

本案は、道路法に基づく市道路線の認定について、議会の議決を求めるものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 武本・宮ノ尾線
県道岡垣・宗像線の改良工事に伴う県からの引き渡しにより、市道路線として認定するものである。
- 2 皐月・光星原線
県道岡垣・玄海線の改良工事に伴う県からの引き渡しにより、市道路線として認定するものである。
- 3 赤間駅前 2 丁目 4 号線、栄町 1 4 号線
土穴跨線橋下側道橋の県からの引き渡しに伴い、市道路線として認定するものである。
- 4 田熊 6 9 号線
団地の小規模開発により造成された新設道路が市へ寄附されたため、市道路線として認定するものである。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 70 号議案 市道路線の変更について

本案は、道路法に基づく市道路線の変更について、議会の議決を求めるものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

土穴 3 7 号線、土穴 6 1 号線、土穴 5 号線は、土穴跨線橋下側道橋の県からの引き渡しに伴う路線変更と住居表示による地名変更のため、起点及び終点を変更するものである。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

第 71 号議案 宗像市離島体験交流施設条例の制定について

本案は、宗像市離島体験交流施設を新たに設置することに伴い、地方自治法の規定に基づき、宗像市離島体験交流施設の設置及び管理に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 条例は、離島体験交流施設の名称、位置、利用許可、使用料等について規定するものである。
- 2 施設は、鉄筋コンクリート造の 2 階建てで、現在、建設中である。開

館は10月30日を予定している。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。